ひの市議会だより

国民健康保険特別会計

質疑

①データヘルス事業の積算内容について問う。
②税率改定、値上げについての認識を問う。
③特定健診の項目に眼底検査が追加されていないが、進捗を問う。
④滞納者推移における値上げの影響を問う。
⑤一般被保険者高額介護合算療養費について問う。
⑥外国籍、無保険など国保加入者の構成について問う。
⑦微量アルブミン尿検査後の治療開始率の低さについて対応策は反映されているか。

意見

①物価高騰の影響もある中、国保加入者の暮らしに追い打ちをかけるべきではない。
（反対）
②値上げの影響が徴税率に反映されないうちの更なる値上げである。
（反対）

区画整理事業特別会計

質疑

①代行買収の妥当性の検証と都市づくり公社との協議内容について問う。
②財政非常事態宣言による都市計画道路３・４・２４号線整備の凍結と西平山土地区画整理事業について問う。
③川辺堀之内土地区画整理組合への補助金交付に係る５年を経過したデータが無いことについて問う。
④東町土地区画整理事業の未着手地域における現状と今後の見通しを地域に説明することについての考えを問う。
⑤市施行４地区の総事業費、期間、進捗率について問う。
⑥財政再建計画とリンクした事業計画の内容について問う。

意見

①計画や進め方について総括することが必要である。
（反対）
②代行買収は目的を偽り公共による買収を行い、税制上の優遇措置をとった不正の疑いがある。
（反対）

介護保険特別会計

質疑

①認知症ケアパス検討会出席者謝礼の内容について問う。
②介護認定を受けたのにサービスを利用しない方の人数を問う。
③介護人材就労促進事業業務委託料について委託事業者と研修事業内容の概略、今後の研修受講者の見込みを問う。
④保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金減額の理由について問う。

後期高齢者医療特別会計

質疑

①令和４年10月以降から自己負担割合が３区分となったが、10月以前と以後の１割、２割、３割の負担について被保険者数を問う。

市立病院事業会計

質疑

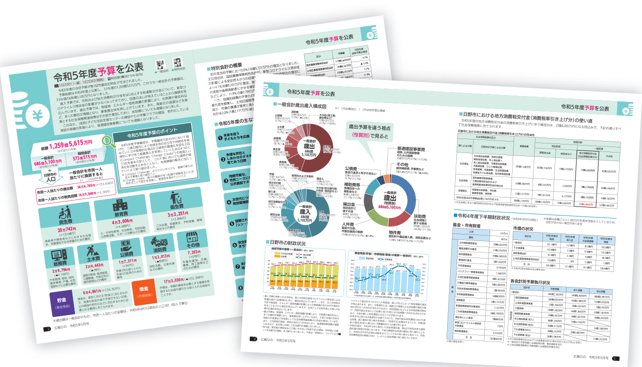
①病床利用率、応需率の目標を問う。
②脳神経外科医が不在となっていることについて問う。
③透析対応の現状と今後の治療体制を問う。
④市内で出産できる産婦人科は、現在市立病院のみだが、この現実に対してどのような取り組みができるのか。
⑤救急の時間帯について、担当医がいない場合の対応を問う。

下水道事業会計

質疑

①新井交差点の地域の管路更生に関する見通しについて問う。
②管渠調査業務委託料が大幅に増額した原因について問う。
③起債の償還について問う。

解説は『広報ひの』に



令和５年度予算内容の解説は、「広報ひの5月1日号」の２ページから５ページに掲載されていますので、併せてご参照ください。

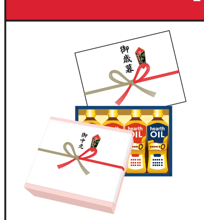
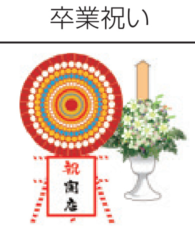
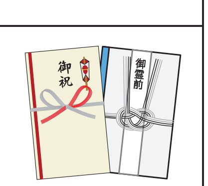
広報ひのホームページQRコード

※議会だよりでは、議員からの質疑のみ掲載しています。
予算委員会の質疑や答弁の詳細については、会議録で全文を確認できます。
会議録は、図書館・市政図書室での閲覧、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。

政治家の寄附は禁止　有権者が求めることも禁止

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず、法律で禁止されています。違反すると、処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

これらの行為は全て禁止です！

 お中元・お歳暮	入学祝い 卒業祝い	病気見舞い
地域のイベントへの寄附や差し入れ	 お祝いの花輪 葬式の花輪・供花	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝い・香典

贈らない！　求めない！　受け取らない！

賛成

市民からの信頼回復に重きを置くことを要望する

チームみらい

財政再建計画元年のスタートを切る予算の評価ポイントを「市民生活を守る」、「最低限のコストで最大限のパフォーマンスを発揮する」の二点としました。

審議にあたり、財政再建計画で示した指標、①当初予算編成時の財政調整基金残高に対する目標金額②臨時財政対策債を除いた、経常収支比率③公債費負担比率④標準財政規模に対する人件費比率の「あるべき姿」を数値目標で示したことは、評価します。

その中で、「市民を守る」という観点は理解する一方で、「最低限のコストで最大限のパフォーマンスを発揮する」という観点については、もう一段意識を高く持ってほしかったという印象です。

財政運営は、市と市民との信頼関係に直結する部分です。

財政再建計画を5年間かけて、生み出したいものは何であるのか。市民が求めている結果は、単なる財政指標の健全化ではなく、信頼だと思います。この状況を打破するため、市民からの信頼回復という観点にもっと重きを置き、わかりやすい財政運営の状況報告、広報紙面の利活用を要望します。

財政に対する市側の変化が伝わってこそ、この財政再建計画に求められる真の成果であると申し添えて、賛成の意見とします。

反対

市民の実態をつかんで、必要な支援を求める

日本共産党日野市議団

予算に反対の立場で意見を述べます。

市の財政指標は、多摩地域標準レベルにも関わらず、「財政非常事態宣言」にとらわれ、国民健康保険税の値上げを実行し、子どもの医療費無料化所得制限撤廃は行わない予算です。

いま市民に起きていることは、空前の物価高騰です。市民の暮らしこそが非常事態であり、負担増を押し付けず、負担軽減するために何ができるか、自治体の本分が問われる問題です。令和5年度予算は、市民の暮らしへの向き合い方、自治体の本分への向き合い方が決定的に弱い、このことが反対する最大の理由です。

個別の課題について、①高齢者補聴器購入費助成事業経費における現物支給、電池代補助を要望②生活保護行政におけるケースワーカーの人材確保と増員、市ホームページ表記の生活保護の趣旨に則った迅速な改善③京王線多摩動物公園駅無人化に対するホームドア設置を前提とする議論を要望④保育園入所、保育士配置の基準引き上げなど必要な整備を要望⑤生活道路の歩道も含めた改修の促進を要望⑥ミニバス増設、潜在的な需要も含めた調査を要望⑦学校安全管理員復活を強く要望します。

市民の実態をしっかりとつかみ、必要な支援を行っていくことを求めます。